

Multi Path Linear Array Radar

マルチパスリニアアレイレーダー MPLA-1645A

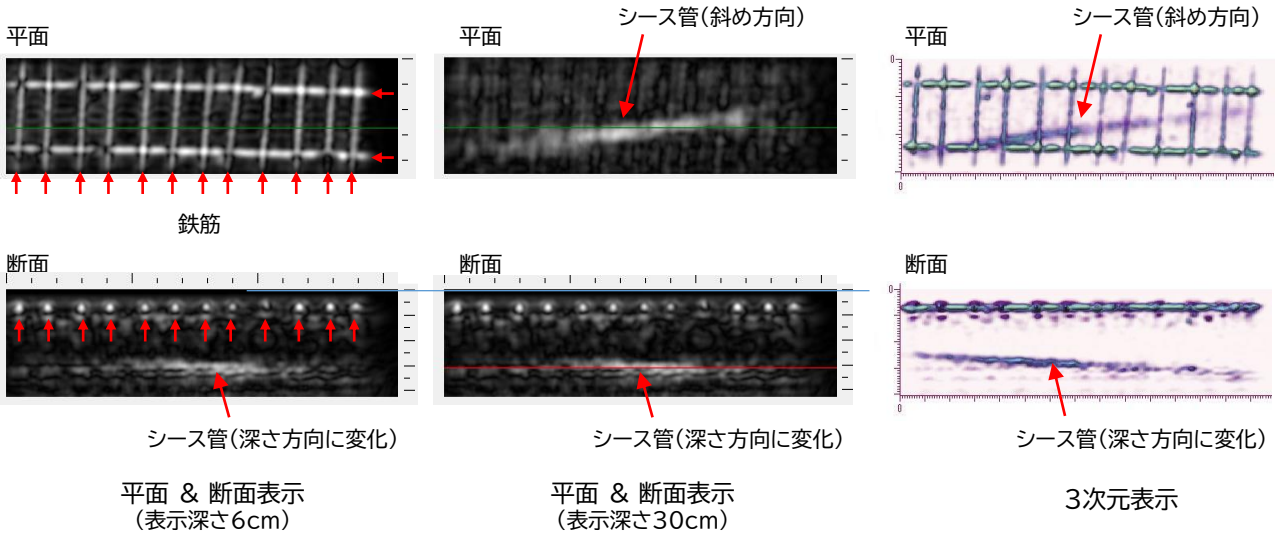
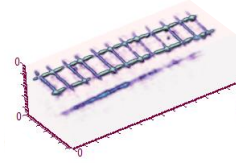
- コンクリート内部を3次元で透視
- 鉄筋裏の配管も容易に把握
- BIM/CIMへのレーダー3次元データの利活用に



原理	マルチパスリニアアレイレーダー	
全長×全幅×全高	310mm × 230mm × 150mm	※センサ部 突起部を除く
周波数帯域	100MHz ~ 約4.5GHz	※FMCW方式
アンテナ素子数	16素子 (送信:8、受信:8)	
測定幅	約260mm	※1回の走査による測定値
測定深度	約300mm	※検査対象条件により変化する
測定ピッチ	10mm/進行方向 約20mm/直行方向	
重量	6.0 kg	※センサ部



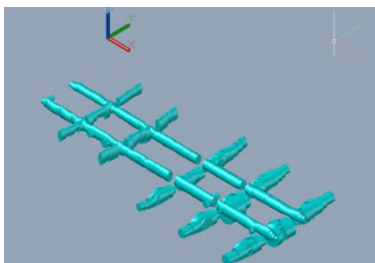
横断、縦断の鉄筋や斜めの配管を 1回の計測 で立体画像として表示
鉄筋裏の配管、深さ方向に変化する配管も3次元で容易に確認



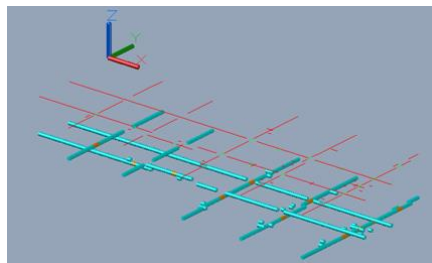
【適用例】

- ・コンクリート構造物・・・鉄筋、配管、石材固定金具、空洞、空隙の調査
- ・橋梁・・・橋梁床版の土砂化、ボイド下の空隙の調査
- ・トンネル・・・覆工コンクリート内部のジャンカ、空洞の調査

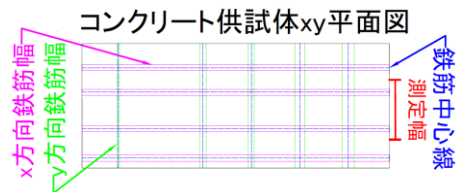
レーダ3次元データから鉄筋を抽出、3DCADデータを作成可能(STL, DXF, DWG※3※4形式)



鉄筋3Dモデル



- ・鉄筋中心を揃え、鉄筋径を設定可能
- ・同一XY平面上に鉄筋中心線を描画



鉄筋の図面化例

※3 別途 AutoCAD が必要です。(AutoCAD2020以降で動作確認済)
※4 AutoCAD および DWG は、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。

